

保健大生発信 新しい生活様式 飲食店応援プロジェクト

宮本 雅央¹⁾

1) 青森県立保健大学

Key Words ①健康管理 ②外食産業 ③アルバイト ④産業支援

I 趣旨

本活動は、保健大生が従事するアルバイト先の飲食店情報を発信する学内向け web サイトを運営し、青森市内の飲食業界を学生の発信によって応援することを目的とした。店舗情報と併せて“新しい生活様式”に基づき実施されている新型コロナウイルス感染症拡大防止策を併せて掲載することで、保健大生及び教職員が飲食店を利用するきっかけとなることを期待し、企画した。これらの活動は、学生及び飲食業界を応援することに加え、店舗利用に伴う感染防止策の実践を通して、適切な健康管理行動と幸福感とのバランスの取れたライフスタイルの獲得を目指すことを目標とした。サイト利用者にアンケートを実施し、新しい生活様式に基づく行動を実践するきっかけにどれだけ寄与できたかを本活動のアウトカムに想定した。

しかしながら、本活動は①学内ネットワークで使用するアプリケーションの仕組みの過渡期であったことや②感染症防止策に伴う様々な経済的支援策などの状況の変化に対応しきれなかったことから、活動の実績を残せなかったことを報告する。

II 活動報告

(1) 活動内容

青森市内飲食店などでアルバイトをする学生から店舗における新型コロナウイルス感染防止対策の実践情報を投稿してもらう情報発信 web サイトを運営するため、下記仕様を提言しサイト構築を試みた。(表 1)

表 1：提案した運営サイト仕様

①学内向けであること 閲覧対象を本学学生および教職員とすることで、飲食店からの掲載許可のハードルを下げる目的がある。	
②学生が書き込む 学生が掲載情報を書き込み、サイトに反映されるよう構築したい。活動代表者によるチェック機能があるとなお良い。 書き込む項目	
公開されない項目	①メールアドレス、②氏名 (内容について不適切もしくは要望がある場合の連絡先として)
公開される項目	①店の情報、②感染症対策、③おすすめポイント、 ④外観やメニューの写真、⑤公開用ニックネーム
③学外からのアクセス 何らかの形で、学外ネットワークからもアクセスできることが望ましい。書き込みの際には認証が必要かと思われるものの、閲覧の場合に認証が不要となるルートでアクセスできるか。	

学内情報システムの仕様上、上記に近い形でのサイト構築は、①学内ネットワークから接続できる元・学生掲示板の再活用または②webex（当時：webex Teams）の活用が現実的であるとのことだった。学内ネットワークは、仕様③の学外からのアクセスが不可であることから、webex の活用が現実的と判断した。

(2) サイト構築に至らなかった理由

上述のとおり、webex 活用を進めることを想定したものの、2020 年度中は webex 導入期であり、①全学生への webex アカウント認証などの準備および②全学生が webex（当時：Teams）アプリを別途インストールするための準備を進めることが必要であり、そのタイミングや実施方法を担当部署と精査することができなかった。そして、同時期、青森県では様々な飲食店応援キャンペーンや新しい生活様式対応推進応援金給付事業なども始まっていった。また、学生の家計が急変した際の給付金や授業料等減免等の補助が手厚くなり、同時に、飲食店を紹介するサイトの増加、オンラインショップなどの情報も容易に手に入るようになり、本活動におけるサイト構築の必要性や緊急性が申請当時ほど高くない状況に変化した。これらに早急な対応がしきれず、サイト構築に至らなかった。

Ⅲ 今後に向けて

本活動では、当初想定していたサイト構築及び利用者アンケートなどの実績を残すことができなかった。これは、状況の変化に対して柔軟に活動内容を発想し直す必要があったにもかかわらず、飲食店応援のための活動をサイト構築に固執し、新たなアイデアを取り込めなかったことが要因の一つに挙げられる。活動に賛同する学生との意見交換を活発にするなど、変化に応じたアイデアが生まれる状況を作る必要があった。

他方、本活動では、①ネットワークインフラを活用し場所の制約を受けない活動や②不特定多数（今回は学生に限定）から重要な情報が集められるプラットフォームづくりを試みた。今後、感染症拡大防止策を講じながら活動を展開する上では、①の要素が特に重要といえる。そして、ヘルスプロモーションの観点から本学が展開する活動の主体を学生が担うことは一定の意義があり、今後も重要な活動形態の要素といえる。学生が地域に伝播する媒介を担うことができ、さらに、それらの活動が地域住民に有益に働くような活動を模索したい。